

中学2・3年生
の
みなさんへ

荒砥高校で頑張る あなたを応援します!!

サポートその1

荒砥高校新入生 応援プロジェクト

令和2年度は新入学のみなさんに**応援券(10万円分)の助成**を実施。
入学時に必要となる制服・教科書などの購入費用や通学に係る定期券などの費用に使うことができます。

サポートその2

スクールサポーター 2名配置

授業を行う先生の他に、スクールサポーター(教員免許を有する先生)が授業で困っている生徒に寄り添って学習を支援しています。
きめ細やかな指導により**学習の積み残し解消や基礎学力の向上**に繋がっています。

サポートその3

介護職員初任者研修支援

初任者研修は介護職の入門資格であり、旧ホームヘルパー2級にあたります。介護の知識・技術だけでなく高齢の方との接し方や介護・福祉の考え方などを習得し、就職に有利だけでなく、高齢の利用者に対してよりよいサービスを提供することができるようになります。

荒砥高校の生徒が受講する場合、その**受講料を町が支援**します。(テキスト代は自己負担)

※新型コロナウイルスの影響により令和2年度は中止となりました。

サポートその4

海外短期留学派遣

オーストラリアへ**5日間の短期留学**を実施。現地では、学生との交流やホームステイを体験、異文化や英語だけの5日間は、国際感覚が身に付き、自分を大きく成長させることができます。

※新型コロナウイルスの影響により令和2年度は中止となりました。



白鷹町では、荒砥高校のさらなる発展を願い、荒砥高校に入学して学ぶ生徒の皆さんを応援するため「荒砥高校をサポートする会」を通じて町を挙げて支援しています。

お問い合わせ

荒砥高校をサポートする会
事務局/白鷹町企画政策課企画調整係
TEL.0238-85-6123

吹奏楽部の卒業生&在校生にインタビュー

私が荒砥高校を選んだ理由は、姉が通っていたことと、家から近かったからです。学校の雰囲気は思っていたよりも落ち着いていて、総合学科なので自分の進路に合った科目を選んで学べたことはとても良かったです。何よりも少人数校なので、先生が親身になって教えてくれましたし、仲間との絆もより深まりました。

部活動では、仲間とたくさんの思い出を作ることができましたし、技術面だけでなく生活面のことも多く学びました。社会人となった今、「とにかくやってみること」「失敗したら、なぜ失敗したのかを考えること」を当たり前のようにでき、高校で身につけたスキルが活かされていることを実感しています。

今は本当に荒砥高校に入ってきたと思います。



佐藤 しおん さん

平成 30 年度卒業
株式会社あさやホテル勤務

私が荒砥高校を選んだ理由は、中学校の部活動の顧問から、荒砥高校吹奏楽部にすごい先生が来たことと聞き、勧められたからです。勧められるまでは正直、荒砥高校にあまり魅力を感じませんでしたが、実際に入学してみると、ボランティア活動などにも積極的に取り組んでおり、地域に根ざしていると感じました。

私は、元々人と話すのが得意ではありませんでしたが、少人数クラスだったからこそ、自分の考えを表現しやすかったし、人とうまく話せるように成長できたので、私にはピッタリの高校でした。また、部活動では、時間を守ることやあいさつなど、社会人としての基礎的なスキルも身についたので、荒砥高校には感謝しています。

ので、荒砥高校には感謝しています。



須藤 ^{みき} 未来 さん

平成 30 年度卒業
東北公益文化大学 2 年

私は、勉強があまり得意ではなかったことや、母と姉の母校でもあったことから荒砥高校に進学しました。

中学校では美術部でしたが、入学後に行われた部活動ガイダンスで聞いた演奏がとても美しかったので、吹奏楽部に入部しました。初心者の私は楽譜を覚えることから始まり、とてもしんどいと思ったこともありましたが、演奏会やコンクールを終えたあとの達成感はとても気持ちがよく、つらい事を乗り越えた分、その喜びも大きいことを感じています。学校生活においても、人数が少ない分、一人一人が活躍できる機会は多くあります。

荒砥高校には、自分の可能性を伸ばす機会がたくさんあり、何よりも町民の皆さんがいつも応援してくださるので、学校生活がとても楽しいです。



菊地 ^{しおり} 汐莉 さん

荒砥高等学校 3 年
(白鷹中出身)

私の夢は保育士で、中学校の担任の先生に荒砥高校を薦めてもらったことがきっかけで荒砥高校に進学しました。また、インスタグラムで吹奏楽部を知り、とても楽しそうな雰囲気だったので吹奏楽部に入部しました。イメージ通り、とても部活の時間が楽しくて、毎日が充実しています。

高校に入って、大きく変わったことは素を出せるようになったことです。すごく内気な性格なので、これまで自分の意見を出すということができませんでしたが、先生方がいつもそばにいてくれて、何かあればアドバイスもくれるので、少しずつ自信を持てるようになりました。

次の部長を務めることになったので、とにかくみんなが楽しいと思えるような部を作り上げていきます。そして、コンクールでの上位入賞にむけて練習も頑張っていきます。



川瀬 ^{るな} 琉南 さん

荒砥高等学校 2 年
(南陽市立沖郷中出身)